

食育勉強会「もりもり食育倶楽部」実施概要

平成24年7月10日
山口地域センター

1 開催日時・場所		
<ul style="list-style-type: none"> 平成24年6月30日（土） 10時00分～15時00分 山口地域センター 大会議室 		
2 内容		
<p>○第2次食育推進計画と地域の食育実践事例についての情報提供</p> <p>講座「家族との共食がステイタス？」 「ご近所食育事例」（農畜産安全管理官 脇本雅子） ＊乳幼児期における食育活動事例集の紹介含む</p> <p>○食の現状と食品ロスの考察</p> <p>講座「食べ残しは、なぜ悪い？」（主任農畜産安全管理官 林茂伸） ＊食と食品ロスの現状についての情報提供 講座とワークショップ「食品ロスを減らすために（実践編）」 （農畜産安全管理官 三戸陽子）</p> <p>○五分搗き米と白米（新潟県産・山口県産）の食べ比べ ＊昼食を食べながら、自己紹介及び活動紹介</p> <p>○食育に作物栽培体験を簡単に取り入れる智恵と工夫 【公立法人山口県立大学サークル畑部指導者 吉廣利夫氏】 研修 『トマトの命をつないでみよう』 ①実践講座「トマトはほんとに夏野菜？」 ②ワークショップ ミニトマトから種を採取しペットボトル鉢に播種し持ち帰る ③簡単な作物栽培体験の情報提供 教育ファーム実践ファイルやこども向け農業雑誌「のらのら」（農文協）、保育園の取組事例等、簡単な作物体験の情報提供</p> <p>○作物栽培体験お悩み相談窓口及び意見交換 吉廣氏を中心に、食育に作物栽培体験を取り入れる時の疑問・質問・悩みごとを中心とした 意見見交換等</p>		
3 出席者		
・ 保育園栄養士・調理員	6名	
・ 学童保育指導員	3名	
・ 市職員（健康福祉センター）	2名	
・ 調理師専門学校講師及び生徒	4名	
・ 教諭	1名	
・ 在宅栄養士	1名	計17名
・ 講師（吉廣氏）	1名	
・ 地域センター職員	4名	総計22名

4 配布資料
<ul style="list-style-type: none"> ・各講座資料 ・食育ガイド ・家族との共食塗り絵 ・「乳幼児期における食育活動」事例集 ・いちばん身近な「食べもの」の話 ・炊きたてご飯は棚田米 ・のらのら（冬号）＊農文協から提供 ・世界の豆料理のいろいろ ・山口市三の宮保育園資料 ・食事バランスガイド関連資料 ・食育の種
5 意見交換会等の中で出された主な意見・要望等
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に出す「おやつ」について考えさせられた。今一度子ども達に出す「食」を考えてみたい。（児童クラブ） ・給食で、食べ残す子ども達が結構いる。本日学んだことを伝えていきたい。（教諭） ・子どもの朝食摂取に親の考え方が大きく影響する。親の考えを変えるのは難しいが、朝食メニューを展示したりと、何らかの取り組みをしていきたい。 ・枝豆の栽培を子ども達にさせて、豆腐を作らせたいと担任から要望があるが、どれくらい作付けすればよいだろうか。（保育園栄養士） ・トマトの実がなる方向が同じだと伺ったが、花が付かないうちに見分ける方法はあるのか？（保育園） ・（本当は、畑に植えてやるのが一番野菜のためには良いが、）プランターで、ものおじせず作ってもらいたい。良い経験になり、「自分で作ったものは、おいしい！」など新しい発見がある。いろいろ挑戦することが大切で、失敗しても次に繋ぐことができる。観察はとても大事で、子ども達の教育にも繋がるのではないかと？野菜の命を、生きた教材として使ってほしい。（吉廣氏）
6 効果測定（アンケート結果）
<p>○参加動機</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食育のことを学びたい ・現場での食育のきっかけづくり ・食育のマンネリ化 ・栽培について興味があった ・ごはんの試食に興味があった ・食育の情報収集 等 <p>○参考になったか？</p> <p>全員が「参考になった」及び「概ね参考になった」と回答。</p> <p>○時間の長さについて</p>

「ちょうどよかった」が6割。(少し長すぎた感がある。)

○今後、食育の推進に向けてどのような活動をしていくか

- ・食べ物「命」であることを身近な体験活動を通して伝えていきたい。
- ・本日勉強したこと、まず自分が体験し、色々な情報を取り入れて活動していきたい。
- ・今まで保育士にまかせきりだった栽培を給食担当者としてしっかり実演・実施していきたい。
- ・多くの人々に食を大切に摂るようにしっかりと話していきたいと思う
- ・保護者に向けて→感謝の心+食品ロスを減らす工夫を伝えたい。

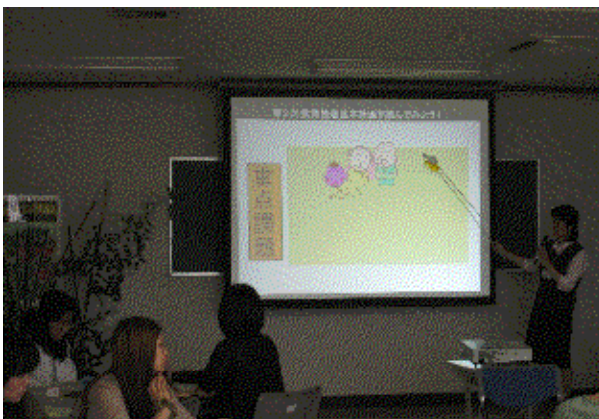
○その他

- ・ますます食生活のあり方を幼児から老人まで楽しく正しい方向に進められるよう少しでも役にたちたいと思った。
- ・トマトという身近な物を使って植えるという研修は楽しかった。
- ・いただいたトマトをしっかり育てて教材にしたいと思う。
- ・食品ロスの取り組みについて勉強できてよかった。

6 その他（食育勉強会の様子・写真）



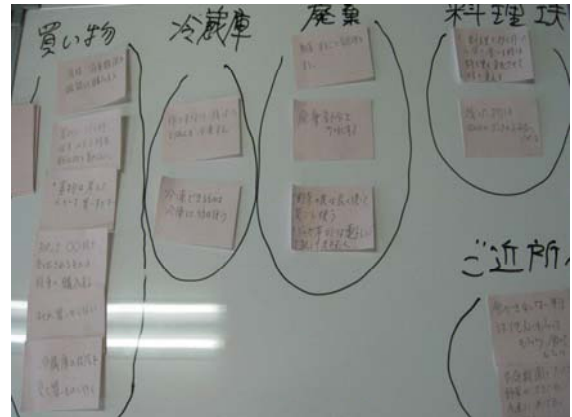
4月から育てたトマトと家族との共食パネルでレイアウト



講座「家族との共食がステイタス？」



講座「食べ残しは、なぜ悪い？」



講座「食品ロスを減らすために（実践編）」とミニホワイトボードでワークショップ



お米の試食後、自己・活動紹介
＊山口県産米が一番好きな
ごはんに決定



「トマトの命をつないでみよう！」研修開始



＊吉廣氏指導のもと、ペットボトルと牛乳パックを利用した鉢にトマトから採取した種を蒔く。1週間後に、芽が出たと参加者からうれしい報告が寄せられた。